

女性チャレンジ応援拠点だより 2020 12月

○●コラム【ゆく年くる年、望む2021年】●○

2020年も師走を迎えました。「コロナ」は年越しになり、今年を「新しい常態」元年に世界はこれから大きく変わっていきます。その世界がSDGsを指標に創られていくなら、明るい未来を期待できそうですが、実際の未来はどうなっているのでしょうか。

これから刻々と変わっていく環境のもとで働き、生きているわたしたち。自分らしい、よりよい未来を創っていこうとすれば、新しい試みや学びが必要になってくるのは当然。それにしり込みしては、自身の可能性を拓ききっかけを逃がしかねません。

そこで2020年12月の「チャレンジが実る流儀〈ケーススタディ〉」は、



～ケース8『新しい試み・学びに本腰、拓く未来』～

保育士として働いたAさん、その経験を活かし何かできないかと模索を続け、いろいろとアプローチしていたのですが、基本的には既存の範疇から抜けでるものではなかったそうです。

そんなある時、何かの調べものでネット検索していたら、自治体の人材募集の情報。仕事の種類は教育機関でマネジメント経験がある人向き、「とてもわたしには無理」と思ったとか。でも“おもしろそう”と感じて、ダメでもいいと応募したら、なんと合格。「自分でもびっくりしました」と言われていますが、“おもしろそう”と直感して動いたことがよい結果につながったのではないのでしょうか。採用する側に、「今は未熟でも自分で伸びていきそう」と見えたのだと思います。「この経験が数年後に何かしらわたしの未来を変えたいと思います」とAさん。そうに違いありません。

友人が代表をつとめる非営利団体にスタッフとして加わったBさん。海外でのNGO活動の経験があり、人のために役立つ仕事を日本でも続けたいと考えていたのです。思い通りの仕事ができるとうれしかったある日、仕事でコンサルタントの人と打ち合わせをすることがあったそうです。その際先方がBさんに、「コンサルタントが合いそう」。「そんな、そんな、とても無理です」と返したそうですが、「いや、イメージできますよ」と言われ、しだいにその気になり、いろいろ探して、決めたのが「キャリアコンサルタント」。仕事の合間に勉強し、少し時間はかかったそうですが、無事取得。そのタイミングで友人の代表が別の仕事をやりたいからと退任し、Bさんに代表の打診。「以前なら断っています」というBさん、「代表として、専門家として、人のためになる仕事の幅が広がり、あのコンサルタントの方には感謝しています」と微笑むのでした。

その他、持ち家の空き家を地域の集いの場にしたり、ライフワークのために独学で古典の勉強を始めた人、などなど、自分で思ったこと、人に勧められたことをうまく次に活かして未来を創っています。

みなさんの中で、「わたしにはどんな試み、学びがいいかしら」と思われた方はぜひ「女性チャレンジ応援拠点」をご活用ください。“話せる”スタッフがみなさんのご来室をお待ちしております。

お手軽♪ミニサロン「来年からやるぞ！オンラインで講座をしたい人のシェア会」

コロナ禍でオンラインでの事業展開を考えているけれど、どうしたらいいの？ちょっと聞いてみたいことがあるんだけど…ということはありませんか？コツや悩みを共有したり、情報を交換したりしながら、モチベーションアップしませんか♪Zoomを使用して開催します。

日時：令和2年12月22日（火）13時30分～15時

詳しくは女性チャレンジ応援拠点ホームページから



詳細はこちら

女性チャレンジ応援拠点

場所：大阪市天王寺区上汐5-6-25 クレオ大阪中央4階

電話&ファックス：06-7659-9640

メール：women-kyoten@danjo.osaka.jp

運営：大阪市立男女共同参画センター中央館

※開室日

※日・月曜日、祝日、祝休日の翌日は休業

火	水	木	金	土
10:30 ～ 12:30	18:00 ～ 20:00	13:00 ～ 15:00	10:30 ～ 12:30	13:00 ～ 15:00

※開室時間内は自由に入退室いただけます。
お気軽にお立ち寄りください。

